

第15回 四大学連合文化講演会

学術研究の最前線

Tokyo-4Univ.レクチャー

環境・社会・人間

オンライン配信 2020.10.11 Sun 13:00~16:30

定員: 500名 (申込順) 視聴無料

主催: 四大学連合 (東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)

企画: 四大学連合附置研究所

後援: お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会

《講演者・講演要旨》

東京医科歯科大学
大学院医学総合研究科
ウイルス制御学分野 教授

山岡 昇司

(やまおか しょうじ)

人類と感染症

新型コロナウイルスの大流行は、グローバル化を進め発展してきた人類に新たな課題を突きつけました。この講演では、人類の歩みを感染症の歴史とともに振り返り、ヒトと病原体との関係をみなさんとともに考えてみたいと思います。



東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
教授

高松 洋一

(たかまつ よういち)

愛書家の皇帝:マフムト1世 (1730-1754)の築いた 「アヤソフイヤ図書館」

三大陸に広大な版図を誇った近世の「超大国」オスマン朝は、イスラーム文化の継承にも大きな貢献を果たした。希代の愛書家として知られるマフムト1世が築いたオスマン図書館史の黄金時代を、写本に残されたメモから現代に蘇らせる。

東京工業大学
科学技術創成研究院 教授

中村 浩之

(なかむら ひろゆき)

がんの低侵襲治療法 (中性子捕捉療法): 承認までの軌跡と今後の展望

ホウ素10の熱中性子捕獲反応により生ずる α 線を利用する中性子捕捉療法は、がんの低侵襲治療法の1つとして注目されており、今年3月に世界に先駆け我が国で頭頸部がんに対し承認されました。本講演では、承認までの軌跡と今後の展望について解説します。



一橋大学
経済研究所 准教授

有本 寛

(ありもと ゆたか)

「途上国」日本の開発経済史

現在の発展途上国が抱える開発課題の多くは、実は「途上国」時代の日本も直面していました。そうした課題に、かつての日本はどう対応したのか、その経験から得られる教訓と、そこからみえる「日本のかたち」について、具体的な事例を交えて紹介します。

オンライン配信 について

文化講演会は、例年、講演会場にて開催しておりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、インターネットでの配信にて開催いたします。

お申込み オンライン文化講演会は、視聴申込みサイトでの受付のみになります。

視聴申込みサイト

http://www.tokyo-4univ.jp/lecture_information/

※ お申込みいただいた個人情報はご本人の承諾なく本講演会の実施目的以外には使用いたしません。



お問合せ先 / 東京工業大学 科学技術創成研究院業務推進課 四大学連合文化講演会事務担当
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 E-mail:tokyo4univ2020@jim.titech.ac.jp

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐えうる研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この19年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第15回の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

■ 講演者略歴

東京工業大学

科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 教授

中村 浩之

1993年3月、東北大学大学院理学研究科化学専攻博士前期課程修了。1996年9月、博士(理学)取得(東北大学)。九州大学有機化学基礎研究センター 助手。東北大学大学院理学研究科化学専攻 助手。学習院大学理学部化学科 助教授、同大学 教授。2013年9月、東京工業大学資源化学研究所 教授、2016年4月より現職。日本中性子捕捉療法学会長(2015~2019年)。
〔専門〕有機化学、創薬化学、ケミカルバイオロジー。〔受賞〕日本化学会進歩賞、がん分子標的治療学会奨励賞、Asian Core Program Lectureship Award

<http://syn.res.titech.ac.jp>

東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所 教授

高松 洋一

1988年東京大学文学部卒業。2003年同大学院人文社会系研究科より学位取得、博士(文学)。2018年より現職。専門は歴史学、古文書学、アーカイブズ学。主な研究対象は18~19世紀のオスマン朝における文書行政および図書館コレクションの形成。主にトルコにおいて手書きの古文書、写本の調査を行っている。近著に『商業と異文化の接触：中世後期から近代におけるヨーロッパ国際商業の生成と展開』(共著書、吉田書店、2017年)、Gölgelenen Sultan, Unutulan Yıllar : I. Mahmüd ve Dönemi (1730-1754)(共著書、Dergâh Yayınları, 2020年)がある。

<http://www.aafufs.ac.jp/ja/staff/list1/takamatsuy>

一橋大学

経済研究所 准教授

有本 寛

2006年東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程修了。博士(農学)。日本学術振興会特別研究員(DC2, PD)、東京大学農学生命科学研究科助教、一橋大学経済研究所准教授、アジア経済研究所研究員を経て、現職。専門は、開発経済学、経済史、農業経済学。近著書に『岩波講座 日本経済の歴史 第4巻 近代2』(分担執筆、2017年、岩波書店)などがある。

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/japanese/faculty/arimoto.html>

東京医科歯科大学

大学院医歯学総合研究科(ウイルス制御学分野) 教授

山岡 昇司

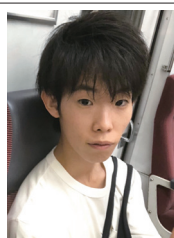
1982年3月、京都大学医学部医学科卒業。1983年1月、新潟県立中央病院外科。1986年4月、京都大学大学院医学研究科。1994年4月、京都大学ウイルス研究所助手。1996年4月、パリ・パストゥール研究所留学。1999年4月、東京医科歯科大学医学部助教授。2007年、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授。〔専門〕ウイルス学〔著書〕一目でわかる微生物学と感染症(監訳 メディカルサイエンスインターナショナル)

URLs <https://molv.org/index.html>

東京工業大学

物質理工学院材料系 3年

伊藤 龍寿



東京工業大学

生命理工学院生命理工系 4年

鈴木 実乃里



PROGRAM

13:00-13:10 開会挨拶 東京工業大学 学長
13:10-13:20 挨拶 文部科学省 研究振興局 学術機関課(予定)
13:20-13:50 『東工大でのキャンパスライフ』
物質理工学院材料系3年 伊藤龍寿
生命理工学院生命理工系4年 鈴木実乃里
13:50-14:25 『がんの低侵襲治療法(中性子捕捉療法):承認までの軌跡と今後の展望』
東京工業大学 科学技術創成研究院
化学生命科学研究所
中村 浩之 教授

14:25-15:00 『愛書家の皇帝:マフムト1世(1730-1754)の築いた「アヤソフィヤ図書館」』
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所
高松 洋一 教授
15:00-15:10 休憩
15:10-15:45 『「途上国」日本の開発経済史』
一橋大学 経済研究所
有本 寛 准教授
15:45-16:20 『人類と感染症』
東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
山岡 昇司 教授
16:20-16:30 閉会挨拶 一橋大学 学長